



平成18年3月期 第3四半期業績の概況（連結）

平成18年 1月25日

会社名 日本興業株式会社

(JASDAQ・コード番号：5279)

(URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>)

代表者役職名 代表取締役社長
氏名 坂口昌平
問い合わせ先 責任者役職名 取締役常務執行役員
氏名 山本秀勝

(Tel: (087) 894-8130)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高又は売上に相当する事項の会計処理の方法の : 無
最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無

2. 平成18年3月期第3四半期業績の概況（平成17年4月1日～平成17年12月31日）

(1) 売上高

(百万円未満切捨)

	百万円	%
平成18年3月期第3四半期	12,801	(8.8)
平成17年3月期第3四半期	11,769	(△7.6)
(参考)平成17年3月期	18,839	(△8.1)

(注)1. 売上高は、当該第3四半期までの累計値であります。

2. パーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益が改善し、それにとまなう設備投資の増加や雇用環境の改善が見られるなど、景気は緩やかに回復基調をたどってまいりましたが、当グループ（当社および連結子会社）の需要先である建設業界では、国や地方の公共事業が総じて低調に推移しており、依然厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当グループは市場開発推進部を中心に新規分野の開拓に取り組むとともに、販売力の強化を積極的に推進しております。

当第3四半期におきましては、土木部門は台風災害復旧工事関連製品に加え道路関連製品が好調に推移し、また都市環境部門は主力製品の「バリアフリーペイブ」等の舗装材が好調に推移するなど、連結売上高は前年同四半期比8.8%増の128億1百万円となりました。

なお、都市環境部門ならびに土木部門は官公庁向けが主体のため、第4四半期が需要期となります。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成 18 年 3 月期の連結業績予想（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

	予 想 売 上 高	予 想 経 常 利 益	予 想 当 期 純 利 益	1 株 当 たり 予 想 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	18,500	185	130	8 62

[業績予想に関する定性的情報等]

通期の業績予想につきましては、平成 17 年 11 月 22 日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

※上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上